

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和２年度採択）

F S（革新的研究調査）評価（公表用／ソフト分野）

番号	F S 研究名	研究代表者	評 価
2020-5	車道基本の自転車通行環境整備による交通事故特性と新たな道路交通安全改善策に関する研究開発	大阪市立大学大学院 准教授 吉田 長裕	A
<p><研究の概要></p> <p>自転車の車道走行と広域化に伴う事故特性を把握し、自動車・自転車のコンフリクトを再現する仮想道路空間実験による科学的知見に基づき、新たな道路交通安全改善策とともに持続可能な安全の段階的向上策を提案する。</p> <p><FS評価結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルシミュレータを構築し実道路の分析とシミュレーションをうまく組み合わせ、再現性を検証するという研究成果を得ている。個別箇所の課題の詳細の把握が可能となることが期待できる。2種類のシミュレータの比較検討を行うのは独創的であり、今後の寄与が強く期待できる。 ・新規課題として採択することが妥当と評価する。 <p><参考意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故特性を踏まえた交差点内の自転車の安全改善策の開発に期待したい。 ・研究成果を全国的な課題解決に結び付ける必要があり、代表的箇所における詳細な分析結果を用いて、汎用的な対策検討手法を提案いただきたい。さらに、対策の効果検証を実施するような成果を期待したい。 ・実交差点での錯綜現象の観測調査について、隅切りの R で自動車の速度が変わる影響について検討いただきたい。 ・サイクルシミュレータの開発については、研究メンバーの従来研究の成果との切り分けを明確にいただきたい。自転車交通の安全に寄与する研究開発がなされることのほか、国際的にも認められる学術研究へと展開することを期待したい。 ・研究成果である自転車の車道通行の安全性評価を、電動キックボードなど、他の交通手段の車道走行の安全性評価に応用可能かについても、可能であれば検討いただきたい。 			

※本 FS 評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 42 回新道路技術会議において審議したものである。